

委員意見取りまとめ（その1）

1 飯山市地方創生総合戦略会議における「定住人口」、「関係人口」に関する委員意見

1-1「定住人口」

NO	意見	戦略への反映や今後の取り組み
1	起業だけでなく、既存の商店街や企業等の支援も重要である。（3/19会議）	第1期に引き続き、既存企業への支援についてKPIに盛り込みます。
2	ITや健康分野が全国的に伸びている。東京ではなく飯山でもできる業種への手厚い支援が必要。また、企業誘致に関しては、大企業だけでなく、小規模の製造業や技術を持った方に来ていただき、ふるさと納税の返礼品として使えるようになれば良いと考える。（3/19会議）	起業支援による企業誘致や、空き店舗への誘致に関するKPIを盛り込みます。
3	農業農村地帯は食べ物に困らない強い地域であることをPRするべき。（3/19会議）	当地域の産業の核となる農業分野の更なる強化を図ります。
4	農協（女性部）においてもSDGsの取り組みが広がってきている。参考にしてほしい。（3/19会議）	SDGsを意識した施策の展開について計画に盛り込みます。
5	遊休農地対策が課題。貸したい、売りたい農地はあるが受け皿がない。移住者が農業をできる体制が大切。飯山で何をつくれれば儲かり、農業をやっていけるかが重要。（3/19会議）	「儲かる農業」の実現に向けた取り組みを計画に盛り込みます。
6	定住人口の減少が一番の問題である。高齢化が進む中で、子育てや若者定住も当然であるが、高齢者・シルバー層の定住。人口増対策等も必要である。医療介護の充実や買い物の手厚い対応、定期便を走らせることも含め検討すべき。（3/19会議）	各分野の横断的な目標として新たな6つの視点のうちの1つである「誰もが活躍できる地域社会をつくる」を掲げ、全世代、誰もが居場所と役割を持ち活躍できる地域社会づくりに取り組みます。 また、交通政策として新たに「網形成計画」の策定に関するKPIを盛り込みます。
7	創業支援は第2期においても継続しているが、甘い計画は一步間違えると創業者を不幸にしてしまう場合もある。創業者も継続できる対応を考える必要がある。（3/19会議）	金融機関等と連携し、企業、経営、安定化、事業拡大等様々なニーズに柔軟に対応できる金融対策の充実や総合的な支援体制の構築を図ることを計画に盛り込みます。
8	総合戦略の体系として、施策（KPI）→基本目標（目標数値）→まち・ひと・しごと創生につながらなくてはならない。第1期の基本目標に掲げた「新幹線飯山駅の乗車数」は目標数値として相応しいか疑問である。（3/19会議）	第2期の基本目標からは削除し、基本目標の目標数値につながる施策やKPIを選定します。
9	商店街の後継者不足の問題や空き店舗対策を行う必要がある。（3/19会議）	空き店舗解消に関する取組を計画に盛り込みます。
10	飯山市の優れた子育て支援のPRを。（3/19会議）	基本目標「若者定住・移住定住推進」の取組みの中で、子育て支援に関するPRを行ってまいります。
11	保育所の問題に関しては、ただ受け入れてくれるだけでなく、より質の高い充実した保育を目指すべき。（3/19会議）	保育園の適正規模・適正配置を踏まえ、新たな拠点保育園における保育の充実を図ることを計画に盛り込みます。

1-2「関係人口」

NO	意見	戦略への反映や今後の取り組み
1	いいやま雪まつりにはボランティア団体150名程の協力を得ている。これも関係人口である。ただし、当関係人口に頼り切るのではなく、運営主体の体制を整えて、手伝っていただく仕組みを作っていきたい。つまり、定住人口がしっかりした上でプラスアルファで関係人口の創出・拡大に取り組む必要がある。（3/19会議）	関係人口のターゲットの考え方としてイベントに係る関係人口の仕組みづくりをKPIに盛り込みます。 また、課題解決のためには、まずは定住人口が自分事と捉えてしっかりと取り組むことが重要であるということを念頭に置き、関係人口と「両輪」で取り組むことを計画に盛り込みます。
2	つながっていただける方（関係人口）と定住されている方とのwin-winの関係をつくることが重要（3/19会議）	関係人口の拡大・創出に関する考え方について、定住人口と関係人口となる対象者がwin-winの関係性を目指すことを計画に盛り込みます。
3	アパートに住まわれている方は、住民登録されていない方もいらっしゃる認識している。市内の大型の生活物品を扱う店舗が営業を続けてくださっているということはそういった方も消費者となっていると推測できる。そういった方も関係人口と捉えることができる。 区と協力してアパートの実態を調べてらどうか。（3/19会議）	実態調査を検討します。

委員意見取りまとめ（その2）

2 「定住人口」、「関係人口」につながる取組みとKPIに関する委員提案

2-1 「定住人口」

NO	取組み	指標（KPI）	課題など	戦略への反映や今後の取組み
1	宿泊業の廃業予定者と起業希望者の仲介・斡旋を図る 施策展開により観光事業者と観光客を確保する。	廃業予定者と起業者のマッチング件数 累計50件	マッチングに際する地域の協力と連携	起業支援の一環として取り組みます。 （提案いただいたKPIの考え方は今後の取組みの参考とさせていただきます。）
2	観光業を軸とした周辺産業（農業、飲食業、各種サービス業）との連携体制の構築	関連事業従事者数 累計1,000人	関係者の選定と連携。商品づくりの販売法	提案の取組みを計画へ反映します。（提案いただいたKPIの考え方は今後の取組みの参考とさせていただきます。）
3	高品質・高生産性農業への取組み	スマート農業実施農家数 原産地呼称 JGAPの取組み農家数	農業関係委員の方からの発言がありましたが、儲かる農業を見せていく必要があります。今ある産業の方々が次を担っていきたい、次に継がせたい農業を行っていくためにはそのような取組みを進めるべき。	施策の取組みに「儲かる農業」推進を盛り込みます。スマート農業、原産地呼称等やJGAPの取組みについては、今後研究してまいります。
4	「充足した子育て支援」をアピールしていく ・待機児童ゼロ、休日保育・病後児保育・一時預かり、子育て世代の相談体制の確立	出生数 利用件数 相談件数	・子育て支援に関わる職員の意識改革 ・子育て支援の施策が住民にとって利用しやすいかの検証をしていく	基本目標の数値目標として、一人の女性が出産可能とされる15歳から49歳までに産む子供の数の平均を示す「合計特殊出生率」を掲げます。また、子育て世代の相談体制の確立は取組みに反映します。
5	若者の定住促進のため、あらゆる相談（雇用、住宅など）が一箇所のできる体制づくり（曜日・時間なども考慮）	相談件数	行政の柔軟な対応をアピールしていく 職員がアイデアを出していく	若者の移住定住推進におけるPRとともに、日常の業務においても意識して取り組みます。
6	市内の介護施設等では介護員・看護師・調理員等の従業員不足に悩まされているため、市外から市内に転居してきた人に家賃補助を行う。	介護施設等の従業員に占める市内在住者の割合	元々市内在住で従事する人に対する支援措置が考えられれば不公平感の解消になる。	介護員などの従業員不足の解消について、今後研究してまいります。
7	農業経営における利益の出る「品種」の研究、及び機械などへの補填、利益の保証			施策の取組みに「儲かる農業」の推進を盛り込みます。
8	農業をしたい移住者に対する土地（農地等）のPR			若者の移住定住推進のためのPRにご提案内容を含めます。
9	長野市等への通勤に要する駐車場の補助や新幹線補助の創設			既存の補助金を踏まえ、今後ニーズ等を踏まえ、研究してまいります。
10	定住人口の入口となる観光客数の増加を企図した取組み	飯山駅乗車数（新幹線）	観光地としての魅力を高めること。 いいやま観光局との連携。 新幹線の乗車数を増やす以外、飯山の生き残る術はない。	信州いいやま観光局をはじめとした関係機関、民間事業者等と連携し、魅力ある観光地づくりに取り組みます。

2-1 「定住人口」

NO	取り組み	指標（KPI）	課題など	戦略への反映や今後の取り組み
11	飯山市の魅力である農作物の販売増加するため、その担い手を増やす取り組み	農業従事者数増減率	単体の農家だけでなく農業生産法人等を活用して儲かる農業の好事例を内外に示す。	スマート農業の導入、儲かる農業の推進等により後継者対策に取り組みます。
12	「定住人口」の増加を図るためには、「関係人口」の増加策を強化する必要がある		各施策のアピール方法（Web戦略等）の検討	定住人口と関係人口の両輪により地域課題解決に取り組みます。また、各施策の取り組み等については、ホームページ等を通じて地域内外へ発信します。
13	【基本目標Ⅰ，施策Ⅰ-(1)地域産業力の強化】 ● KPI ③空き店舗等解消・活用件数」について 空き店舗を活用した芸術祭等の開催。北アルプス国際芸術祭（大町市）や大地の芸術祭（新潟県十日町）のように街全体を活用し，空き店舗内なども展示ブースとすることで空き店舗の利活用と町の活性化につながる。市外，県外からも募集する。 参考：https://shinano-omachi.jp/, https://www.echigo-tsumari.jp/	空き店舗活用数，割合，市外・県外からの応募数・展示数（関係人口）	一時（短期）利用時の契約，家賃等の調整。短期の利用のため，定着せず空き店舗であることに変わりはないため，根本的な解消にはならない。中長期的に見て，出展者が将来的に店舗を借りるなどしてくれる工夫が必要。	先進事例やご提案いただいた踏まえ、空き店舗の活用方法を研究してまいります。
14	【基本目標Ⅱ，施策Ⅱ-(1)若者定住のための条件，環境整備等】 ● 若者の定住のための住宅整備(支援)について 定住をターゲットとして世代（地元住民）へのアプローチ。若年層が定住を決める際にどういった点がポイントか，どういった住宅・環境であれば定住を考えられるかなどをワークショップ形式でアイデアを出す。高校生から対象にし，長期的視点で若年層が定住を考える地盤をつくる。移住希望者とともに実施し，地元住民との交流を図るなどの工夫もできる。（施策Ⅱ-(2)三世代同居支援件数，空き家あっせんにも関係）	ワークショップ参加人数，アンケートによる意識調査結果	既に実家がある場合は，新たに住宅を整備するといったことはなかなか考えられず，ワークショップへの参加自体がない可能性がある。また，住宅に関する知識も専門ではないことから十分でないため，多様なアイデアや実用可能なアイデアが浮かびにくい。そこで，住宅の基本を学ぶ機会の提供や市などの支援策などを知る機会を作る。あわせて，実際に施工するしないに関わらず建て替えとリフォームの相談が雑談レベルくらい気軽にできる時間も設ける。	若者のニーズに合った住宅整備に努めます。ニーズの把握については、ご提案いただいた手法を含め研究してまいります。

2-1 「定住人口」

NO	取り組み	指標（KPI）	課題など	戦略への反映や今後の取り組み
15	【基本目標II，施策II-(1)若者定住のための条件，環境整備等】 ● 婚活事業での成婚組数について 結婚のイメージや実際に必要となる費用等，結婚後の生活など具体的なイメージを持ってもらうため，ワークライフバランスについて知り，考える機会をつくる。「婚活」を前面に出したものではなく，ワークライフバランスとしてまとめた冊子の配布であったり，座談会形式であったりと様々な方法で広報する。 参考：長野市若者のライフデザインサイト https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/education/news/news/post-23.php	冊子の場合は配布数，配布場所の数／座談会開催数，参加人数	冊子作成の場合は，手間暇と誰が作るかということが問題。座談会形式でも，どう人集めをするか，実施日時をどうするかなど。	施策の取組みにあたり、参考とさせていただきます。
16	【基本目標III，施策III-(1)子育て支援の充実】 ● （新規提案）子育てサークル等の活動支援 子育て支援を住民相互で実施しているサークルなどと連携した活動支援。飯山市子ども館を活用し，イベントの企画等を通して親子間の交流を図る。また，子育て支援サークルの活動に幅広い世代が参画し，街全体で子どもの成長を見守る基盤を作る。イベント等に地域住民が参加し，共に企画したり，中高生や高齢者それぞれの世代の遊びを，違う世代に教えて一緒に遊ぶなどの交流の機会を設ける。 参考：父親サークル「おっきいて」（長野市） https://www.facebook.com/103okt/ ブログ http://okt.naganoblog.jp/	親子参加組数，中高生など世代別の参加数，活動支援回数	どのくらいの規模まで，何を支援するのかの線引きが難しい。活動費の支援なのか，企画運営の支援なのかなど。どの程度関わるか，関わって良いかという基準が必要かもしれない。	子育て相談体制の充実を図るとともに、子育て中の親同士の交流を応援するなど地域で支える子育て環境づくりを進めます。
17	【基本目標III，施策III-(1)子育て支援の充実】 ● （新規提案）ESD（Education for SDG s）の取り組み ESD（SDGs推進のための教育）の推進のための市内小中高等学校のユネスコスクール加盟。もしくは，ESDに関係する各学校の取り組みの支援や活動の広報などを行う。ESDの活動の際の協力者の斡旋などの支援。 参考：信州ESDコンソーシアム（信州大学教育学部） http://esd-nagano.org/	ユネスコスクール加盟校数，ESDに関係する取り組み支援回数	加盟自体は各学校の事情，希望沿って行った方が良いので，加盟校数をKPIにするのは難しいかもしれない。	ご提案いただきました「ESD（Education for SDG s）の取り組み」を研究します。

2-1 「定住人口」

NO	取り組み	指標（KPI）	課題など	戦略への反映や今後の取り組み
18	【基本目標Ⅳ，施策Ⅳ-(1)安心・安全な暮らしの確保】 ●（新規提案）要配慮者支援マップ 各地域で要配慮者支援マップを作成し，避難訓練時に活用する。また，それにあわせて防災マップ作りを地域ごとに行う。防災マップ作りの際には，危険場所（石堀，がけ崩れなど），安全地帯（避難場所，消火栓など），備蓄倉庫（場合による）なども記載し，より地域の人たちが活用しやすい地図とする。	マップ作成数	要配慮者情報に関しては個人情報でもあるので，地域住民全員が見れるマップに落とし込むのか，それとも地域の代表者等の限られた人が見れるようにするのかなど検討が必要。また，防災マップを作る際も，備蓄倉庫の表示についても要検討。さらに，防災マップを作る際は，大人の視点ではなく，子どもの視点で危ない場所など探すなど必要。登下校時や子ども達で遊んでいる際の安全に配慮することで，幅広い世代に配慮したマップになりえる。	基本目標の目標数値に掲げる「防災マップを作成した自主防災組織数」の取組みに際しては，ご提案いただいた要配慮者の避難支援も考慮しつつ作成するものとします。
19	●（新規提案）各地域，もしくは避難所への防災のための備蓄整備 各地域に最低限必要と思われる防災グッズを整備する。防災食，水，簡易トイレ，ライト，サバイバルシート（遮熱・防寒シート）など必要最低限のものから整備していく。	整備数	災害を想定した場合，様々なケース（地震や台風などが冬の夜に発生，真夏に発生など）が考えられるため，どの程度を最低限とするか。食品・水の場合の賞味期限前の入れ替えの際の費用など，継続的につけていけるか。また，地域住民の人口の変動に伴う増減管理はどうするかなど。	ご提案いただいた内容を踏まえ、ニーズに合った災害物資の備蓄を進めてまいります。
20	起業支援はもとより、既存の事業所や商店街への支援（事業所の閉店、廃業を食い止める施策なども）	・事業承継成功の事業所数 ・商店街来場者数 ・ふるさと納税金額など	・後継者不足。空き店舗、空き事務所等の活用。 ・他地域との差別化。	KPIに企業立地新工業条例適用事業所数を加え、地域経済を支える市内企業の支援に取り組めます。
21	・首都圏だけではなく、飯山でも業務が可能な企業の誘致 （ＩＴ企業、健康分野企業、小規模ではあるが技術力や特色のある製造業など） ・特色のあるふるさと納税返礼品の開発支援	起業事業所数	他地域との差別化	KPIに起業支援による起業件数を掲げ、新たな価値創造型等の起業を積極的に支援します。
22	・これからはデフレに向かっていくと思うことから、落ち着いた生活ができる地方、田舎への希望が増えてくと思う。キーワードは安心、煽られ過ぎた時代が過ぎ、落ち着いた暮らしを求めてくるようになる。農業・農村の安心感、温かさが売り物となる。 ・特に若い層の子育て真っ最中の皆さんには良いと思う。飯山は子育てに全く困らない、支援センター、保育園、小学校。そして様々な施策がある。		・市内にいくつかの集落をモデル地区に。数年間おいてみての集中した取り組みはどうかと思う。	飯山の産業の核である農業振興についてご意見を踏まえ取り組みます。また、子育て支援に関するPRを行うほか、保育業務においては待機児童ゼロをKPIに盛り込みました。

2-2 「関係人口」

NO	取り組み	指標（KPI）	課題など	戦略への反映や今後の取り組み
1	飯山応援団「菜の花大使」のリニューアル再活。機能停止状態の菜の花大使制度を見直し再整備。	菜の花大使登録者数 累計5,000人（再整備後）	飯山応援団登録数約3,000人だが現状実活動なし。有効な交流活動推進のための内容を精査する必要がある。	関係人口の創出・拡大のKPI「裾野拡大型」に「仕組み」の一つとして今後の取組みの参考とします。
2	市内農地を利用したふるさとワーキングホリデーの実施、子ども農山漁村体験宿泊の仕組みづくり	ワーキングホリデー 累計1,000人	実施中の戸狩温泉自然体験教室との連携。協力農地の確保	関係人口の創出・拡大のKPI「裾野拡大型」に「仕組み」の一つとして今後の取組みの参考とします。
3	大学や各種専門学校などの生徒との交流促進によるイノベーション推進	高等教育機関来市生徒数、交流ゼミ数、交流校数	関係人口を継続的に増やしていくためには、雪まつりへのボランティア参加生徒の継続当該守っている関係人口を育てつなげる必要があります。縁から始まる部分もありますので研究交流フィールドとして広く受けていくことが大切かと思います。	関係人口の創出・拡大のKPI「裾野拡大型」に「仕組み」の一つとして今後の取組みの参考とします。
4	空き家などを別荘地として利用してもらえるようにアピールしていく（都会で生活している飯山市の出身者の中でもセカンドハウスを希望している人もいる。）	空き家利用相談件数	特に過疎化の進んでいる地域を重点的にアピールし（水害の心配ない）除雪体制、住民との話し合いなどで進めていく必要がある。	空き家を活用した別荘や二拠点居住を推進するための体制を整備し取り組みます。
5	今日のコロナの件もあるので、飯山は「安全、安心」をアピールしていく。休日に新幹線を利用して飯山へ。	新幹線飯山駅利用数	食の安全（食堂、喫茶店、道の駅） 親子で体験できる場所	新幹線飯山駅を活用した旅行プランのほか、飯山との関係づくりにおいては関係人口創出・拡大に向けた取り組みを図ってまいります。
6	都市部住民に市街地の会員制日帰り型市民農園を提供し、日常的に来訪する人々を確保することで夏季の消費拡大と新幹線の利用促進を図る。	クラインガルデン会員登録者数（クラインガルデン：農地の賃借制度（ドイツ発祥））	農機具の貸し出し管理、メンテナンスや作業指導者の確保と飯山駅近くの遊休農地の借受確保。	遊休農地の活用についてKPIに盛り込みます。また、関係人口の創出・拡大のKPI「関係創出型」に「仕組み」の一つとして今後の取組みの参考とします。
7	村部の会員制滞在型市民農園（ラウベ付（簡易宿泊施設））	クラインガルデン会員登録者数（クラインガルデン：農地の賃借制度（ドイツ発祥））	場所は村部のまとまった遊休農地又は借受け農地の確保と極小規模のラウベの建設費用	上記同様。なお、ラウベにつきましては、ニーズを踏まえ、維持管理等の負担にならない仕組みを研究してまいります。
8	対象者：若年層（大学生等） 民間企業や行政、商工会議所が連携したインターンシップの実施		【例】「地域便ジャー留学」 塩尻市は2018年度までに累計50名のインターンを受け入れし、うち3名が移住した実績があると聞いたことがあります。	インターンシップ受け入れを関係人口の創出・拡大のKPI「裾野拡大型」に「仕組み」の一つとして今後の取組みの参考とします。

2-2 「関係人口」

NO	取り組み	指標（KPI）	課題など	戦略への反映や今後の取り組み
9	対象者：シルバー層 ・介護・医療の前段階、いわば「未然防止・健康維持」を目的としたシルバー増の「コミュニティの場」を創出する。 ・都心部を含めたシルバー層の囲い込みにより、そこに付随する家族や事業者の囲い込みを図る。 ・「寺の町」と「自然環境」を活かした文化的かつ健康的に「心の充実感」を得られる地域としての施策とアピール。 ・都心部の移住希望者が地方に何を求めているか、もっと具体的に調査する方法を構築する必要がある。			都市部のシルバー層の地方への求めるものを調査し、当市の地域課題とのマッチングを図ります。
10	戸狩、斑尾の両スキー場の良さを伝えるメッセージャーを要請する取組。 （対象者：メッセージャー） （スキー場に関わる業務をボランティアでやってもらう。但し経費は市負担）	メッセージャーによるSNSでも情報発信件数	参加者のメリット、デメリット	菜の花大使制度と連携し研究します。
11	気軽に参加できる農業ボランティアの募集	農業ボランティア参加者数	参加者メリットを強く与える必要あり。	ボランティア参加から関係が深くなる可能性があるため、関係者等と研究してまいります。
12	新幹線飯山駅前へのホテル、お土産店等の誘致 ・ホテルチェーン、ホテルグループ、飯山市、企業、賛同出資者等からなる建設母体を組織し、建設後は市内運営会社等(市内ホテル・旅館含む)に運営を委託する。 ・客室数は100室前後、夕食無しの宿泊のため、市内飲食店や商店街が活性化する。 ・市内の大会議室、宴会場所有の企業や飯山市文化交流館なちゅら等と連携し、定期的なコンベンション会議、イベントを開催し宿泊をしていただく。 ・1階については、観光案内所（一部）、土産品コーナーを設置。ホテルフロントとは隔てる。	・宿泊者数。 ・土産品店、ホテル館内・駐車場等立ち寄り客数など。	・ビジネスホテルの稼働率が課題。 ・市街地ホテル、旅館経営者との連携と配慮。 ・閑散期の市民や企業等へ割引き宿泊予約の検討。 ・駐車スペースが課題。駅西の立体駐車場と連携。	駅前市有地の活用（ホテル誘致）に関するKPIは「企業誘致・本社機能移転・市外流出抑制」として位置づけるほか、機能については公民連携の手法の活用を研究しております。なお、関係人口の創出・拡大への波及に向けても研究してまいります。
13	信越自然郷観光案内・お土産品・飲食長屋の設置 ・新幹線飯山駅構内または駅前隣接地(つるや南側)に 信越自然郷各市町村の観光案内所・お土産品・飲食長屋を設置する。（土産品・飲食は出店者を募集、審査） ・新幹線飯山駅構内→上越妙高駅構内をイメージ ・お土産品・飲食店長屋→松本駅前をイメージ	信越自然郷観光案内・お土産品・飲食長屋の立ち寄り客数など。	駅構内についてはＪＲと協議必要。・駐車スペースが課題。駅西の立体駐車場と連携。	飯山駅及び飯山駅周辺の賑わい創出に向け、ご提案を参考に各関係機関と連携し研究してまいります。
14	一番のものは縁故、親戚交流と思う。故郷に帰ってきたい、思うことはだれしもあると思う。新幹線、高速道路があるので、とっかかりは交通費や滞在費等、関係人口対策費の中に組み入れられたらいい。そしてふるさと納税やサポーターとしてつながっていければいい。 そして、飯山市が得意としていた日本中でも羨ましがられた第2のふるさとづくり、このことは関係がテーマ、今一度取組のボリュームアップを図ってもいいと思う。			飯山にルーツがある者を対象に、仕組みづくりを行うほか、日本の原風景が残る飯山の特性を生かした第2のふるさとづくりに関する仕組みづくりを検討します。